

令和5年度 学校評価

1 回答者

実施日 令和6年1月9日(火)～1月18日(木)

生徒19名(在籍19名) 保護者15名(回収率100%) 教職員11名 学校運営協議会委員4名

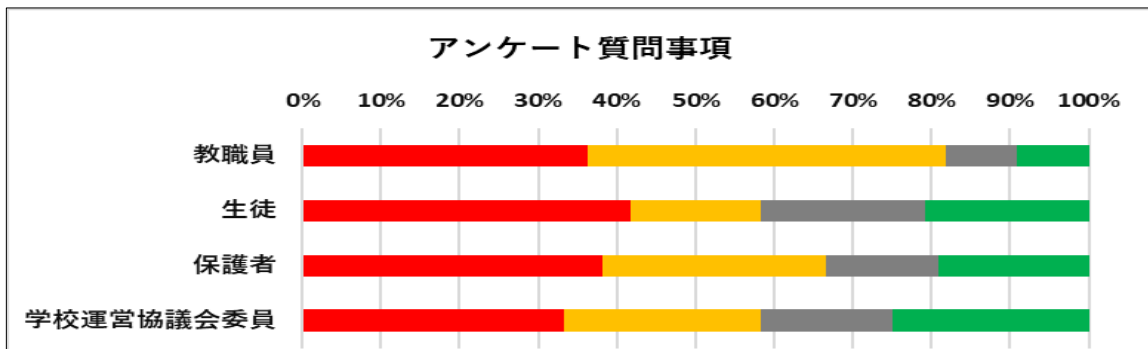
2 回答方法

各質問事項に対して、「1あてはまる」「2ややあてはまる」「3あまりあてはまらない」「4あてはまらない」の4段階で回答していただき、「1あてはまる」「2ややあてはまる」を肯定的意見、「3あまりあてはまらない」「4あてはまらない」を否定的意見として、調査結果を分析しました。

3 結果の活用

調査結果は2月上旬に取りまとめ、全ての教職員に配付して課題や改善点を明らかにしました。そこから得たものを6年度の学校運営や教育方針、さらに重点目標に反映させていきます。

また、保護者や学校評議委員の方にも調査結果をお示ししてご助言をいただき、改善すべきは積極的に改善するよう努めています。



■あてはまる

■ややあてはまる

■あまりあてはまらない

■あてはまらない

割合については、少数点第1位を四捨五入して表記していますので合計が100%になっていないことがあります。

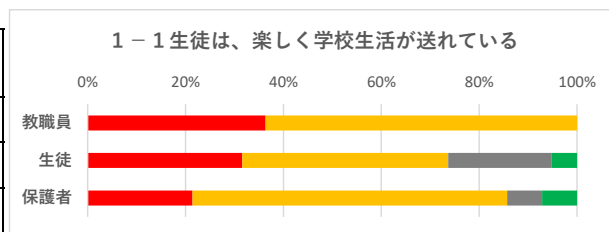


阿南市立福井中学校

1 学校生活に関すること

1-1 学校生活が楽しい

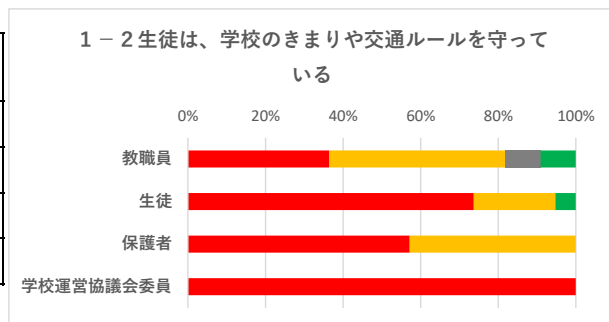
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	4 (36%)	7 (64%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	6 (32%)	8 (42%)	4 (21%)	1 (5%)
保護者	3 (21%)	9 (64%)	1 (7%)	1 (7%)



教職員 生徒は、楽しく学校生活が送れている
 生徒 学校生活は楽しい
 保護者 お子さんは、学校生活を楽しく送れている

1-2 学校の決まり、交通ルール

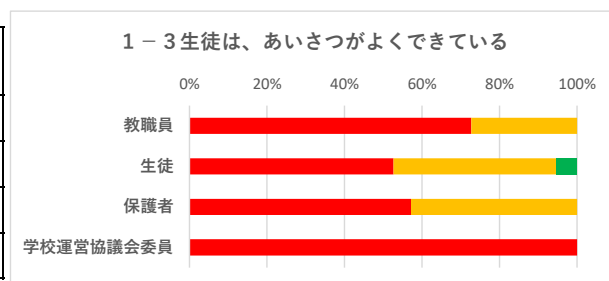
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	4 (36%)	5 (45%)	1 (9%)	1 (9%)
生徒	14 (74%)	4 (21%)	0 (0%)	1 (5%)
保護者	8 (57%)	6 (43%)	0 (0%)	0 (0%)
学校運営協議会委員	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)



教職員 生徒は、学校のきまりや交通ルールを守っている
 生徒 自分は、学校のきまりや交通ルールを守っている
 保護者 福中生は、学校のきまりや交通ルールを守っている
 学校運営協議会委員 福中生は、学校のきまりや交通ルールを守っている

1-3 あいさつ

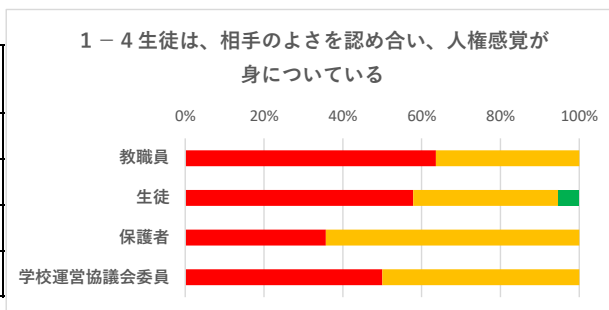
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	8 (73%)	3 (27%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	10 (53%)	8 (42%)	0 (0%)	1 (5%)
保護者	8 (57%)	6 (43%)	0 (0%)	0 (0%)
学校運営協議会委員	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)



教職員 生徒は、あいさつがよくできている
 生徒 自分は、あいさつがよくできている
 保護者 福中生は、あいさつがよくできている
 学校運営協議会委員 福中生は、あいさつがよくできている

1-4 人権、仲間づくり

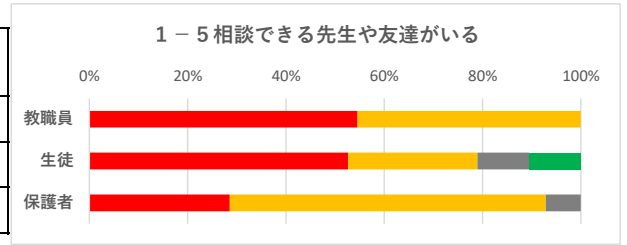
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	7 (64%)	4 (36%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	11 (58%)	7 (37%)	0 (0%)	1 (5%)
保護者	5 (36%)	9 (64%)	0 (0%)	0 (0%)
学校運営協議会委員	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)



教職員 生徒は、相手のよさを認め合い、人権感覚が身についている
 生徒 自分や相手のよさを認め合い、いじめのない仲間づくりができている
 保護者 福中生は、自分や相手のよさを認め、いじめのない仲間づくりができている
 学校運営協議会委員 福中生は、自分や相手のよさを認め、いじめのない仲間づくりができている

1-5 教育相談

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	6 (55%)	5 (45%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	10 (53%)	5 (26%)	2 (11%)	2 (11%)
保護者	4 (29%)	9 (64%)	1 (7%)	0 (0%)



教職員 生徒の悩み事や相談に適切に対応することができる
 生徒 相談できる先生や友達がいる
 保護者 福中は子どもの相談や悩み事に適切に対応している

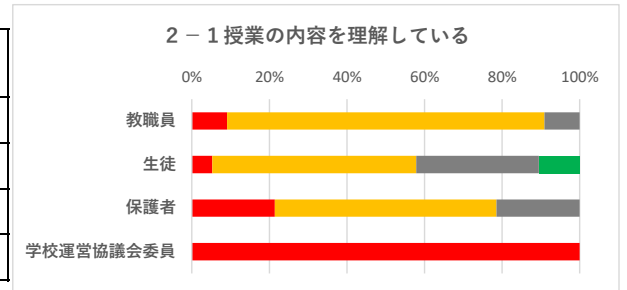
1の考察

生徒、保護者、教職員のそれぞれで「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた人の割合が多く、小規模校の利点を生かした一人一人をしっかりと見つめ、きめ細やかな支援を展開してきた成果であると思われる。しかしながら、「学校生活が楽しい」「相談できる先生や友達がいる」の問いに対して、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と答えた生徒の回答がそれぞれ、5名、4名あり、教職員との意識のずれがあった。保護者と連携し、配慮が必要などときには手を差し伸べることができる体制を整えていきたい。「あいさつ」に関して、学校運営協議会委員も含め「あてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な回答の割合が昨年度に比べ増えている。今後は、「おはようございます」だけでなく、時と場合に応じたあいさつや返事ができるように指導していきたい。これからも学校だけでなく、保護者や地域との連携を強化し、生徒理解に努め、一人一人に応じた支援体制の構築に取り組んでいきたい。

2 学習に関すること

2-1 授業理解

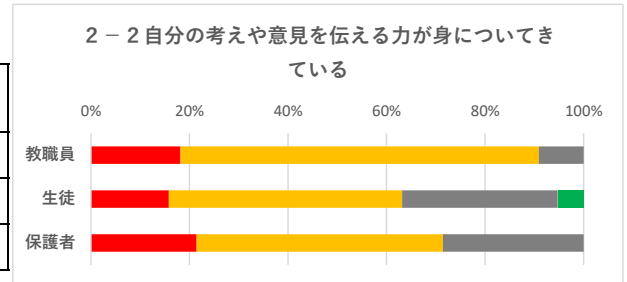
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	1 (9%)	9 (82%)	1 (9%)	0 (0%)
生徒	1 (5%)	10 (53%)	6 (32%)	2 (11%)
保護者	3 (21%)	8 (57%)	3 (21%)	0 (0%)
学校運営協議会委員	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)



教職員 生徒は、授業の内容をよく理解している
 生徒 自分は、授業の内容をよく理解している
 保護者 福中生にとってわかりやすい授業ができている
 学校運営協議会委員 福中生にとってわかりやすい授業ができている

2-2 コミュニケーション、表現力

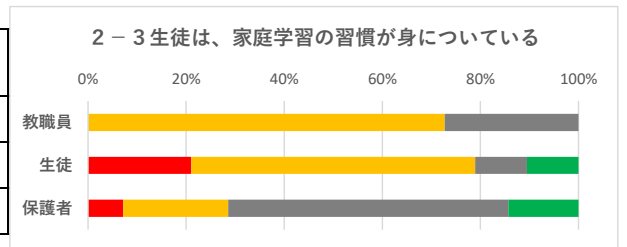
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	2 (18%)	8 (73%)	1 (9%)	0 (0%)
生徒	3 (16%)	9 (47%)	6 (32%)	1 (5%)
保護者	3 (21%)	7 (50%)	4 (29%)	0 (0%)



教職員 生徒は、自分の考えや意見を伝える力が身につけてきている
 生徒 自分は、自分の考えや意見を伝える力などの表現力が身につけてきている
 保護者 福中生は自分の考えや意見を伝える力が身につけてきている。

2-3 家庭学習

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	0 (0%)	8 (73%)	3 (27%)	0 (0%)
生徒	4 (21%)	11 (58%)	2 (11%)	2 (11%)
保護者	1 (7%)	3 (21%)	8 (57%)	2 (14%)

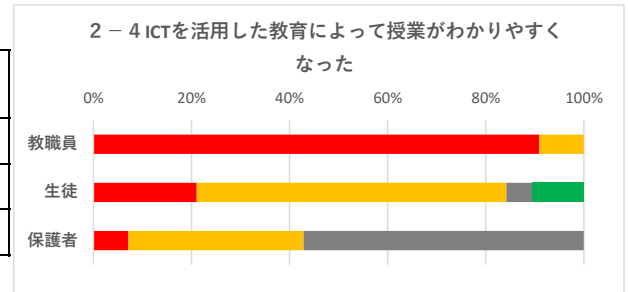


教職員 生徒は、家庭学習の習慣が身につけている
 生徒 自分は、家庭学習をする習慣が身につけている
 保護者 お子さんは、家庭学習の習慣が身につけている

2-4 ICT活用

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	10 (91%)	1 (9%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	4 (21%)	12 (63%)	1 (5%)	2 (11%)
保護者	1 (7%)	5 (36%)	8 (57%)	0 (0%)

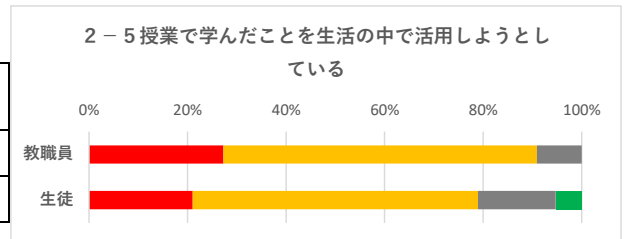
教職員 学習活動においてICTを効果的に活用することができている
 生徒 ICT(タブレット等)を活用することによって授業がわかりやすくなった
 保護者 福中はICT(タブレット等)を効果的に活用している



2-5 生活への活用

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	3 (27%)	7 (64%)	1 (9%)	0 (0%)
生徒	4 (21%)	11 (58%)	3 (16%)	1 (5%)

教職員 生徒は、授業で学んだことを生活の中で活用しようとしている
 生徒 授業で学んだことを生活の中で活用しようとしている



2の考察

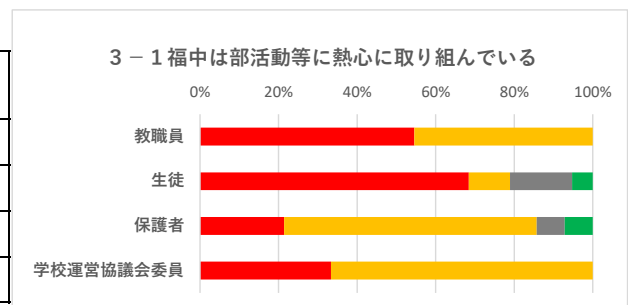
授業理解の項目においては「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した生徒が8名と昨年度より多く、教職員との意識のずれがあった。授業の組み立て方や指導方法の工夫、また、個に応じた指導を心掛けながら、生徒が目的意識をもってより意欲的に取り組めるようにしていきたい。自分の考えや意見を伝える力の育成では、昨年度より、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した生徒、保護者の割合が10%程度上昇しており、人権劇や日々の意見発表の活動を通して身につけてきたように思われる。授業における工夫等に加え、全校集会や文化祭など学校生活の中で活躍する場面を多く設定していきたい。家庭学習の項目においては「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した保護者が、70%を超えた。家庭学習の時間が、宿題だけに終わっている生徒がいることが考えられる。形骸化している自主学習ノートを目にすることもあり、まず家庭学習の意義を確認し、次にするべき内容を考え時間の確保をするなど、主体的な家庭学習にする必要がある。同時に、新型コロナウイルス感染症の影響により改善途上にある基本的な生活習慣も学校と家庭で協力を目指したい。ICTの効果的な活用では、他校とオンラインでの学習など成果が見られた。繰り返し学習で特定の能力を身に着ける英単語や漢字、計算等での自主学習ノートの活用、タブレット端末を利用してのレポート提出など、筆記を必要とする従来の学習とICTを活用した学習の使い分けが必要である。

3 体力づくりに関すること

3-1 部活動

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	6 (55%)	5 (45%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	13 (68%)	2 (11%)	3 (16%)	1 (5%)
保護者	3 (21%)	9 (64%)	1 (7%)	1 (7%)
学校運営協議会委員	1 (33%)	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)

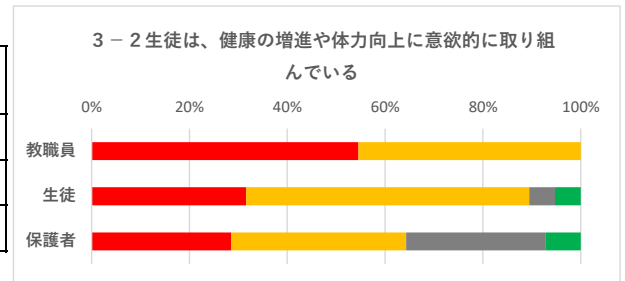
教職員 福中は、部活動等に熱心に取り組んでいる
 生徒 福中は、部活動等に熱心に取り組んでいる
 保護者 福中は、部活動等に熱心に取り組んでいる
 学校運営協議会委員 福中は、部活動等に熱心に取り組んでいる



3-2 健康、体力づくり

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	6 (55%)	5 (45%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	6 (32%)	11 (58%)	1 (5%)	1 (5%)
保護者	4 (29%)	5 (36%)	4 (29%)	1 (7%)

教職員 福中は、健康の増進や体力向上に意欲的に取り組んでいる
 生徒 自分は、健康の増進や体力向上に意欲的に取り組んでいる
 保護者 お子さんは、健康の増進や体力向上に意欲的に取り組んでいる



3の考察

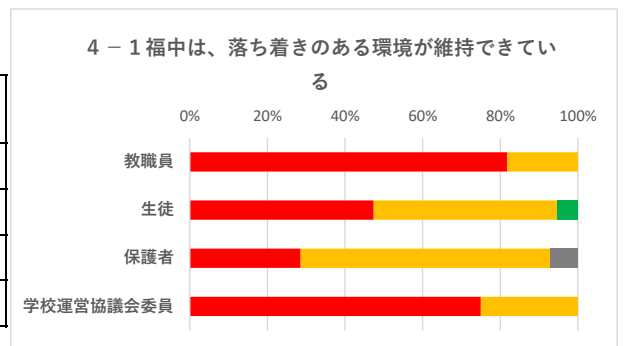
部活動の質問では「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と生徒、保護者、教職員の約80%が回答しており、全体的に熱心に取り組むことができている。生徒一人一人が目標をしっかりと持ち、集中力を身につけ、成長できるようにしていきたい。今後も保護者や生徒に部活動の意義や運営方法について理解を図るとともに、安心・安全に活動できる部活動運営の工夫に努めていきたい。健康・体力づくりでは、全ての教職員は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答。生徒についても90%が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答。朝の体力づくりへの参加生徒の割合も約80%となっており、生徒一人一人が健康の増進・体力向上に意欲的に取り組んでいると思われる。今後も健康教育の充実に取り組むとともに、心と体の健康について個別指導を行っていきたい。

4 学校環境に関すること

4-1 落ち着いた環境の維持

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	9 (82%)	2 (18%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	9 (47%)	9 (47%)	0 (0%)	1 (5%)
保護者	4 (29%)	9 (64%)	1 (7%)	0 (0%)
学校運営協議会委員	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)

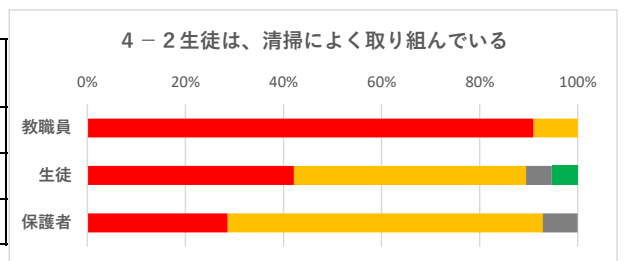
教職員 福中は、落ち着いた環境が維持できている
 生徒 福中は、落ち着いた環境が維持できている
 保護者 福中は、落ち着いた環境が維持できている
 学校運営協議会委員 福中は、落ち着いた環境が維持できている



4-2 清掃活動への取組

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	10 (91%)	1 (9%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	8 (42%)	9 (47%)	1 (5%)	1 (5%)
保護者	4 (29%)	9 (64%)	1 (7%)	0 (0%)

教職員 福中は、清掃によく取り組んでいる
 生徒 自分は、清掃によく取り組んでいる
 保護者 福中生は、清掃によく取り組んでいる



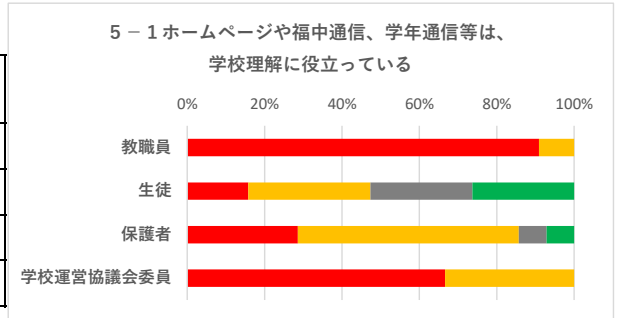
4の考察

落ち着いた環境の維持においては、教職員は100%が、生徒は90%が、保護者は93%が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」肯定的な意見を示している。朝の全校読書や授業規律の確保など、落ち着いた環境をめざした取組の成果が現れている。また、これまで施設の修繕や掲示物の工夫など、教育環境の整備に努めてきたことで、落ち着いた環境が維持できている。今後も継続していきたい。清掃活動では、教職員100%、生徒90%、保護者92%が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した。年末の大掃除では、全校生徒で体育館の窓ふきから床の雑巾がけ、ワックスがけまで一生懸命取り組むことができた。今後も生徒自身での清掃活動の振り返りを行う中で、学校の環境美化に取り組んでいきたい。普段の清掃でも時間いっぱい取り組めるよう、声かけ等をしていくことが必要である。

5 開かれた学校づくりに関すること

5-1 ホームページ、学校通信

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	10 (91%)	1 (9%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	3 (16%)	6 (32%)	5 (26%)	5 (26%)
保護者	4 (29%)	8 (57%)	1 (7%)	1 (7%)
学校運営協議会委員	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)



教職員 ホームページや福中通信、学年通信等は、学校理解に役立っている

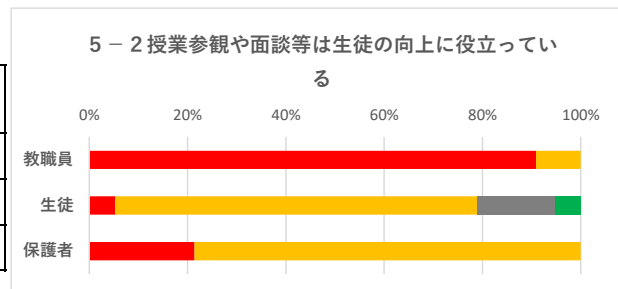
生徒 自分は、ホームページや福中通信、学年通信をよく読んでいる

保護者 ホームページやマチコミ、福中通信、学年通信等により学校の取組や生徒の活動の様子がよく分かる

学校運営協議会委員 ホームページやマチコミ、福中通信、学年通信等により学校の取組や生徒の活動の様子がよく分かる

5-2 授業参観や面談の実施

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	10 (91%)	1 (9%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	1 (5%)	14 (74%)	3 (16%)	1 (5%)
保護者	3 (21%)	11 (79%)	0 (0%)	0 (0%)



教職員 参観授業や面談等を、適切に実施することができた

生徒 参観授業や面談は自分自身の向上に役立っている

保護者 参観授業や面談等は、適切に実施できている

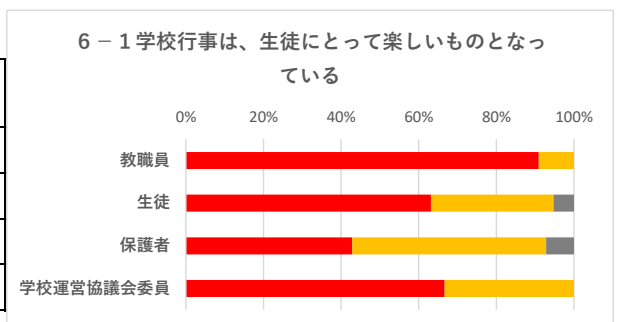
5の考察

ホームページ・学校通信の質問では「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた保護者は86%で情報共有において有効な取組である。日々の活動の様子等を頻繁にホームページに掲載するなど、取組の成果が見られた。しかし、生徒の半数以上が福中通信や学年通信をあまり読んでいないことから、学校の廊下にデジタルサイネージを設置し映像を通しての情報発信を始めている。授業参観や面談の適切な実施については、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた保護者は100%であった。多くの保護者の方が出席してくださり、学校の教育活動への理解につながっている。授業参観や面談が自分自身の向上に役立っているかとの質問では「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と21%の生徒が回答しており、参観授業が一人一人の生徒の向上が見られる場になるよう工夫するとともに、面談等が個々の生徒の成長を伝えられる場になるよう見直していきたい。

6 学校行事に関すること

6-1 学校行事は楽しい

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	10 (91%)	1 (9%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	12 (63%)	6 (32%)	1 (5%)	0 (0%)
保護者	6 (43%)	7 (50%)	1 (7%)	0 (0%)
学校運営協議会委員	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)



教職員 学校行事は、生徒にとって楽しいものとなっている

生徒 福中の学校行事は楽しい

保護者 学校行事は、生徒にとって楽しいものとなっている

学校運営協議会委員 学校行事は、生徒にとって楽しいものとなっている

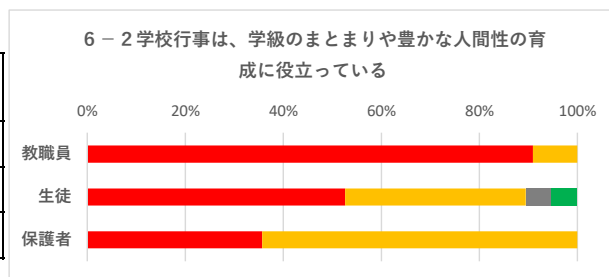
6-2 学校行事は学級のまとまり豊かな人間性の育成に役立っている

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	10 (91%)	1 (9%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	10 (53%)	7 (37%)	1 (5%)	1 (5%)
保護者	5 (36%)	9 (64%)	0 (0%)	0 (0%)

教職員 学校行事は、生徒にとって楽しいものとなっている

生徒 福中の学校行事は楽しい

保護者 学校行事は、生徒にとって楽しいものとなっている



6の考察

学校行事は楽しいと生徒の95%が回答した。生徒会の立候補演説においても、「生徒自らが考え、主体的に取り組む学校行事の開催」を提案する複数の候補者がいた。これまで自ら考えることをテーマに取り組んできた成果である。「学校行事は学級のまとまりや豊かな人間性の育成に役立っている」の質問では、教職員・保護者の100%、生徒の90%が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した。新型コロナウイルス感染症対策で本来の予定通りに行事が行えないこともあったが、生徒は自分たちでできることを考え、主体的に行事を計画・実行したことで、学級の仲間意識が高められ、他を思いやる気持ちが育まれたと考えられる。昨年度に比べて生徒数が減少したが、魅力ある活動が実施できた。このことを踏まえ、学校行事の内容をさらに充実させ、継続していく必要があると考えられる。

7 その他

7-1 生徒会行事、PTA活動、職員研修の充実

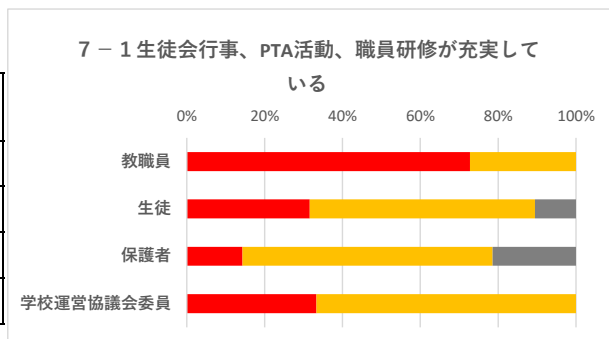
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	8 (73%)	3 (27%)	0 (0%)	0 (0%)
生徒	6 (32%)	11 (58%)	2 (11%)	0 (0%)
保護者	2 (14%)	9 (64%)	3 (21%)	0 (0%)
学校運営協議会委員	1 (33%)	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)

教職員 職員研修は有意義なものになっている

生徒 生徒会活動は生徒の意見を反映し充実している

保護者 PTA活動は会員の意見をもとに、充実した活動ができている

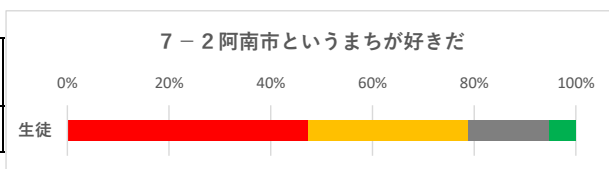
学校運営協議会委員 福中は保護者や地域の願いに応えた教育活動を行っている



7-2 郷土愛

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	9 (47%)	6 (32%)	3 (16%)	1 (5%)

生徒 阿南市というまちが好きだ



7の考察

生徒会、PTA活動、職員研修の充実に関する質問では「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた教職員が100%、生徒が90%、保護者が78%、学校運営協議会委員100%となっており、昨年度に引き続きその割合は多くなっている。しかし、「あまりあてはまらない」が生徒が11%、保護者が21%あり、参加者の意見や要望をしっかりと聞きながら、一人一人が主体的に活動することができる生徒会活動やPTA活動を考えていく必要があると感じる。本年度、PTA本部役員数、専門部の統合など新しい組織で活動した。今後も持続可能な運営について保護者等と協議をしていく。「阿南市というまちが好きだ」の質問では、79%の生徒が肯定的な意見をもっている。総合的な学習の時間等を通してふるさと学習に取り組んできた成果である。今後も地域のよさを見つける活動や、地域の人とふれあう機会をもうけ、福井町や阿南市のよさをあらためて感じる場を設けたい。